論議は新年にもちこし

陸別町議会　千葉町長の急病で　会期を一カ月延長

暮の十月月二十三日にひらかれた定例第四回陸別町議会は会期を二日間として国安議長、千葉町長、佐々木助役から報告があつて議案審議に入りました。

池北三町浄化センター

はじめに「池北三町浄化センター組合の設置について」を上程、陸別、足寄、本別の三町のし尿処理に関する事務を共同処理するため一部事務組合を設置するもので、その規約の要旨は

一、組合の事務所は足寄町役場におく
二、組合の議会の議員の定数は十五人とし、議員は各町長および各町の議会で互選した四議員とする
三、組合の議会は議員のなかから議長および副議長を選挙しなければならない
四、組合に組合長、助役、収入役をおく
五、組合に吏員その他の職員をおく
六、組合に監査委員二人をおく
七、組合の経費は、組合の事業より生ずる収入およびその他の収入をもつてこれに充て、なお不足する場合は各町がつぎの割合をもつて負担する
1、し尿処理施設の新改築にともなう経費　均等割　二五％　計画収集人口割七五％
2、平常の運営ならびに維持管理にともなう経費は、議会費については均等割、その他については、し尿収集実績による

などで、これにたいして赤川議員から『現在の業者より料金は高くなるのか』との質問について原田民生課長は『高くなるがさほどの差はないと思う』との答弁があつて原案どおりに議決つづいて議会から選出の組合議員四名については各常任委員会の副委員長などで選考の結果、竹内、松台、佐々木、矢鋪の四議員に決定しました。（この組合規約は足寄町議会は二十一日に、本別町議会は二十三日に、それぞれ同文のものを議決）

このほか労組専従職員の在籍制限にともなう条例の改正、消防団員の退職報償金支給条例の改正、住宅管理条例の改正、各会計の予算補正などを審議決定しましたが、二日目から千葉町長が急病で欠席し一カ月ほど静養が必要であるとのことなので会期を一月二十三日まで延長することにして二十四日で散会、二十五日から異例の長期休会に入りました。

このために定例議会としての本格的な論議は新年にもちこしとなり、再開は一月二十日前後の予定で、職員の給与改定、決算審査、一般質問などがおこなわれます。

三役の給与アップ
本別と足寄の場合

毎年のことながら国家公務員の給与アップは年末ギリギリに確定して地方公務員もそれに右ならえとなるので、従つて年末の町議会は年中行事のおさだまりの給与アップ議会。

そこえもつてきて昨年暮の場合は、十勝町村会の申し合せとして、町村長といえども生活給であるから一般職員のアップと同様にその都度引き上げしておいた方が、あとになつてまとめて大巾に引き上げて〻お手盛り〻云々の住民感情をさけるようにとの心くばり。

しかし足寄の小林町長は『申し合せはそうだが私は遠慮したいので助役以下は考えて頂きたい』と大滝議長に申し入れ。

この報告をうけた町議会では理事者側を退場させて議員協議会にうつしてケンケンガクガク。

その論議の焦点は、私はいいから助役以下には…云々はあり得ない、生活給なのだから遠慮なく信念をもつて堂々と三役のアップ分も一般職員と同様に町長自らが提案すべきだということで、支給うけるべきものはうけて、精一杯職務にガンバツてほしいという議会の空気。

この結果、改正となつた三役の給与額はつぎのとおり。（カッコ内は従前の額）

町長　十五万八千円（十五万円）
助役　十二万二千円（十一万五千円）
収入役　十万一千円（九万五千円）
教育長　九万五千円（九万円）

本別の場合は毎度のことながら三役の給与となると理事者側はもちろん傍聴人も締め出しての秘密会で、つぎのとおりに決定。

町長　十六万五千円（十五万円）
助役　十二万五千円（十一万五千円）
収入役　十万五千円（九万五千円）
教育長　十万五千円（九万五千円）

足寄の場合は町村会の申し合せどおりに一般職員のアップ率に準じたが、本別の場合はそれにこだわらないで議会の自由裁量で色をつけた形。

管内の他町村でも申し合せ以上のアップが多く、なんのための申し合せかとなるものの、もともと自治体のことはそれぞれ自主的な判断によつて決めるのが原則ですが、白治省などでは三役の給与や議員の報酬等は第三者による審議会にはかつて決めるようにと指導しています。

陸別、道東バス話合いへ

陸別バス（社長高橋幸雄氏）では昨年五月からの道東バスの運行休止にともないへき地住民の足を確保するため町や議会のバックアップで路線免許の寸前までいつたところで既得権をもつ道東バスが十月末に運行を再開したので、一応ストップ状態となつていますが新年に入つて路線譲渡などについて両社間で話し合いがおこなわれるのではないかとみられています。

道東バスとしては冬期間は赤字路線でも車と従業員を動かせる程度で継続してもシーズンに入つて一台の車でもフルに稼がすことになれば事情が変るからです

この論議
本別と足寄の町議会から

○…暮の本別町議会に失保改悪反対共斗会議の名で失業保険法改正反対の請願が提出され、地区労推薦の方川、賀陽、井上の三議員が紹介議員。

○…失保法が改正されれば営林署その他の季節労働者にとつては直ちに生活の脅威となるので請願が出るのも当然なら紹介に立つのも当然。

○…これにたいして自民党側の鳥居、井出、上原、安久津議員らから異議が出て請願は不採択。

○…その理由のうち、「改悪反対」とか「共斗会議」とかの字句が気にさわるというのはもつともですが、国会でとり扱うものを町村議会で云々すべきでないというのは頂けません。

○…町村議会には国や道にたいして堂々と意見を申し立てる権限があり、なんでもかでも国や道のいいなりになるのでは自治体とはいえません。

○…請願ではないが足寄町議会にホクレンの足寄クーラーステーションの水道料金を減額してほしいとの要望書。

○…理由は大量に水を使うクーラーが所定の水道料金を払つていたのでは牛乳処理のコスト高となつてその分だけ酪農民の収入減になるというもので、遠山、吉田議員らがさかんに善処方を主張するのにたいして福本、鳴海議員らから異議。

○…その言い分は、ホクレンは農民組織の上であぐらをかいている巨大な営利団体ではないか、水道料金を減免する理由はないし町より大きな団体が町をいじめることはない、農協自体も真に農民のためになつているかどうか、購売事業などに手をひろげて町の商店を圧迫していると、はしなくも農、商議員間のツバゼリ合い。

○…ホクレンはすでに一般農民の手のとどかないマンモス機構となり、農協は農民のためといよりも農協のための農協に変質している傾向があるものの、現行制度のなかでは農民のよりどころとして活用しなければならない存在。

○…クーラーが市街の上水道を使つていたのでは高あがりで、いずれは専用給水をもつとしても先決問題のその施設をあとまわしにしての着工がもたらした結果で、減額要望については議会は総務委員会に調査付託

謹賀新年　1969年
足寄町防犯協会
協会長　清川久夫
副協会長　阿部俊夫
同　北田敏郎
同　後藤愛一
総務部会長市原四四三
同副　大野耕太郎
協会長　清川久夫
同副　坂上俊夫
事業部会長横山喜三郎
同副　後藤愛一
広報部会長　清水公康
同副　水野源次郎

家具と建材のサトウ
ことしの新しい住まいづくりに
明るく楽しい環境で繁栄のため
なんでも揃う勉強の店へどうぞ！
佐藤家具建材店　足室駅前　T二二一

賀正　1909年元旦
株式会社　足寄駅前商店街　前田呉服店　電話二二番
―去年のニュースから―　拙歌三首（白峰）
余る米統制するなら畑作の
雑穀の価格保障して欲し
教育ママはしつけのママになられたし
未来をになうわが子のために
衣食足りて礼節を知ることわざも
今は通ぜぬ大学のデモ

新畳　表替　中古畳　ふすま張替
二段ベッド　敷物一式
小林畳店　小林幸三郎
足寄町大通り山口整骨院前　T四二八

大自然のなかの人工美
―いで湯のふるさと―
観光と保養の　芽登温泉
足寄町芽登　T二八五五

不動産についての御相談は
調査　売買　あつせん　管理　分譲
代行　登記　損害保険　代理まで
同和、興和火災保険代理店
北海道免許十26
足寄不動産事務所
足寄町本通り三丁目　T三四五

共立チエンソー
景品付大売り出し
共立チエンソーは国産機として素晴らしい性能を発揮しテレビで放送宣伝され当社が数年販売の結果今や世界水準を抜く優良機種でしかも価価安でまさに時下の大衆的な機種として当社が自信をもつてお奨めいたします。
CS―六〇S　五、五馬力　八万二千円
CSL―八〇A　七馬力　八万六千円
―（中古品在庫豊富）―
有限会社　鈴木鋸刃物店
足寄町大通り　電話三〇七番